

# 広島東支部

## 広報 だより

広島県看護協会広島東支部会員数

保健師	40人(入会率25%)
助産師	22人(入会率45%)
看護師	1,338人(入会率51%)
准看護師	25人(入会率3%)
合計	1,425人(入会率39%)

## 支部長挨拶

広島東支部長 松田 早苗



広島県看護協会広島東支部の皆様、平素より支部活動へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今年度、支部長に就任しました松田早苗です。安芸市民病院勤務を経て、2025年1月より慈楽福祉会で勤務することとなりました。病院とは違うフィールドで働きながら、未熟ではございますが視野を地域に向け、支部活動に役立てていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

さて、コロナウイルス感染症が5類変更となり、今年度は病床確保料や診療報酬の特例廃止、医師の働き方改革、さらに物価高騰など厳しい状況にある施設も多いかと存じます。今までの幾多の試練もですが、

こういった苦難を乗り越えるのは看護師の力が必要不可欠なのは言うまでもありません。2025年を迎え2040年までに私たち看護師がやるべきことは何か。病院から地域への視点に転換していかななくてはなりません。看護の力が発揮されるのはこれからが正念場です。職能団体の強みを生かして看護にかかわる諸問題をあきらめずに声を出すことから始めていきましょう。支部活動は事業計画を進めるだけではなく皆さんの声を届ける場にもなるよう役員一同頑張っておりますので遠慮なくお声掛けください。

## + まちの保健室 +

5月13日「看護の日・看護週間」PRバス巡回イベントとしてイオンモール広島府中でまちの保健室を行いました。16件の健康相談があり、「キッズナース・キッズドクターなりきり体験」では多くの子供達に白衣を着てなりきり、たくさんの笑顔を頂きました。

また、11月3日には中野公民館祭りへ参加し、60名以上の方にお立ち寄り頂き健康チェック・相談を行いました。地域の皆様のお役に立てたのではないかと感じています。

常設型まちの保健室では協力員の皆様のおかげで計画通り実施できております。次年度も継続予定ですので、より多くの施設の皆様にご協力頂きますようお願い致します。

副支部長 川口 直子



## 令和6年度 役員紹介

支部長	松田 早苗	社会福祉法人慈楽福祉会
副支部長	川口 直子	済生会広島病院
副支部長(連盟担当)	園田さおり	JR広島病院
幹事(総務)	原田あいこ	マツダ病院
幹事(財務)	村田 織江	マツダ病院
幹事(社経)	上木 利江	JR広島病院
幹事(教育)	仁熊 詩織	太田川病院
幹事(教育)	田中 正志	安芸市民病院
幹事(教育)	北木 弥生	済生会広島病院
幹事(教育)	津田 美鈴	わかもとりハビリ訪問看護ステーション
担当理事	萩原七帆子	安芸市民病院
事務	横山 祐子	広島東支部事務所

# 専門性の高い看護師の 地域活動推進プロジェクト

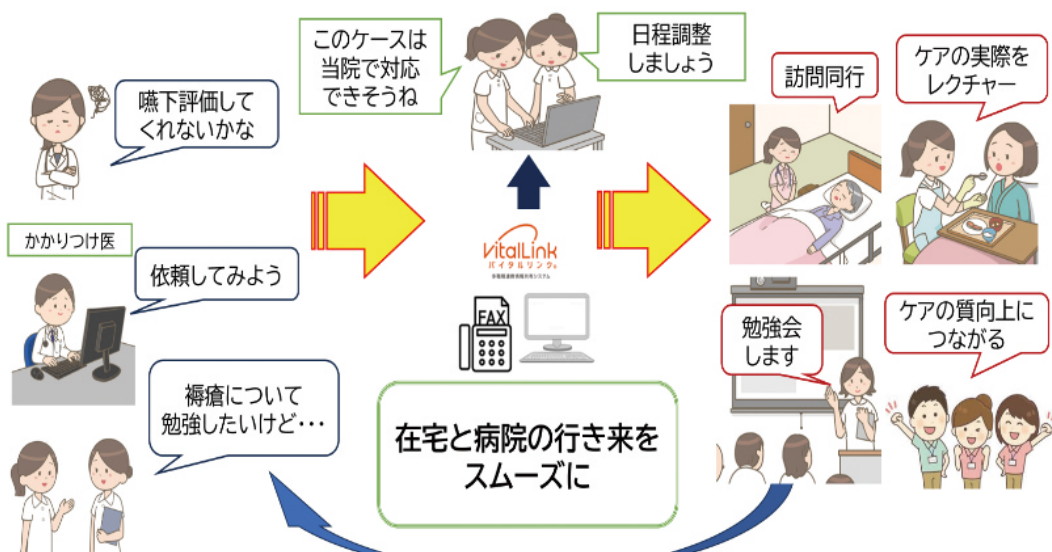
広島市医師会運営・安芸市民病院 地域包括ケアシステム推進部  
皮膚・排泄ケア特定認定看護師 須山 真見

現在、診療圏における3病院済生会広島病院、マツダ病院、安芸市民病院では、13分野、約30名の専門性の高い看護師が在籍しており、各病院で日々の看護・ケアにおいて院内外から様々な依頼や相談を受け活動しています。院外での活動を通して、施設を含む在宅や専門性の高い看護師がいない病院等では良い看護・ケアを提供したい、新たな知見を得たいという思いがある反面、相談する窓口がわからない、相談するにはハードルが高いなどの声が聞かれ、病院と在宅の違いを考慮した連携が課題となっていました。一方、専門性の高い看護師は、「地域活動をしたい」という思いはあるものの、分野や窓口体制のアピール不足により積極的な地域活動に繋がらず体制構築が課題となっていました。このような課題を踏まえ今回、3病院地域連携室管理者との連携構築から、安芸地区医師会事業における共有クラウドを用いた病診連携を利活用し、「地域看護相談ステーション」を創設しました。7月中旬から運用を開始し、11月末までで事例相談3件、出前講座依頼が7件あり

ました。地域完結型の医療において、専門性の高い看護師が積極的に地域活動を行うことは、病院のみならず、在宅でも質の高い看護を受けることができ、住み慣れた場所で安心して医療を受けながら療養することに繋がる、更に病院においても在宅を見据えた連携推進に役立つことができると考えます。今後も施設間の垣根を越えて地域看護やケアを担う方々と共に看護・ケアの質向上を目指す体制を確立し、地域看護の発展に寄与したいと思ひます。



## かかりつけ医 ↔ 訪問看護ステーション ↔ 介護事業所 ↔ 施設



## コアメンバーからのメッセージ

社会福祉法人恩賜財団 済生会広島病院 地域連携室  
がん化学療法認定看護師 **平田 佳子**

2024年8月に安芸地区医師会の、かかりつけ委員会で「地域看護ステーション」の目的や各分野の活動内容を説明いたしました。先生方からは「以前認定看護師に

関わってもらい助けられた。相談できる窓口があることはありがたい」と言っていただきました。専門性の高い看護師を活用してもらい、安芸地区の先生方と共に在宅療養を支えて行きたいという思いを伝えさせてもらいました。

マツダ病院 感染対策管理室  
感染管理特定認定看護師 **村田 織江**

2024年9月3日、「安芸地区のスペシャリストの力を集結しよう！～顔の見える関係をつくり、互いを知りましょう～」をテーマに、安芸地区医師会訪問看護ステーション、安芸市民病院、済生会広島病院、マツダ病院の認定・専門看護師26名が初の合同研修会を実施しま

した。分野や施設の垣根を越えた意見交換を通じ、スペシャリストとしての姿勢や看護の質向上への取り組みを考える機会となりました。同じ悩みを共有し、連携が活動の原動力になるとの声もあり、互いの理解が深まりました。

今後も連携を強化し、地域全体で看護ケアの質向上を目指していきたいと思えます。

## 各病院の看護部長よりメッセージ

広島市医師会運営・安芸市民病院  
看護部長 **萩原 七帆子**

安芸市民病院は平成19年に第1号誕生から現在までに7分野9名の認定看護師が、4名の特定行為修了者（再掲）が誕生しています。当初より、スペシャリスト達は院内に留まらず地域医療への貢献を意識していましたが、

中々活動の機会がなくウズウズしていたと思えます。この度、医療圏の3病院がタッグを組みITを活用したこのプロジェクトの誕生は、まさに画期的であり、看護の力で地域医療の発展につながる事になると期待しています。

済生会広島病院  
副院長兼看護部長 **池田 ひろみ**

今後、地域医療体制の構築・維持がより一層高まると予測されています。安芸地区での専門性の高い看護師たちのこの活動は、地域と連携した継続的なケアの

実践につながっていきます。医療施設、介護施設、行政等が一体となり、すべての住民の健康的な生活を支援できる地域医療・看護のやりがいや魅力を、ぜひ全国に広めていってください。

マツダ病院 看護部  
看護部長 **尾崎 仁美**

地域完結型医療が推進される中、安芸地区においても在宅で療養される患者が増加しています。安芸地区内に勤務する専門性の高い看護師が、施設内に留まらず、在宅の場においても、質の高いケアを提供し在宅

療養を支える仕組みが出来たことは、素晴らしいと誇りに思います。また、患者・ご家族だけでなく、患者の主治医や訪問看護師等にとっても安心できる存在になると考えます。是非とも、この活動が発展していくことを祈念します。



## 研修報告 救急蘇生研修(初級者コース)

日時：令和6年8月31日(土)

8月31日に救急蘇生研修会初級者コースを開催しました。台風の影響により開催が危ぶまれましたが、無事に20名の参加者により開催できました。マツダ病院の住居副院長をはじめ、5名のインストラクターによる実技を中心とした研修内容でした。4名ずつのブースに分かれ、シナリオを用いて繰り返しBLSを実践しました。参加者は5年未満の経験年数の少ない方から10年以上の経験者の方まで幅広く参加していただくことができました。受講者の感想からも、理解度・満足度ともに高く、今後の急変時の対応への知識・技術を深める機会となる研修でした。

教育担当：田中 正志



## 研修報告 組織強化研修会

日時：令和6年12月7日(土)

組織強化研修会を、令和6年12月7日(土) JR広島病院にて開催いたしました。看護協会について萩原七帆子様、看護連盟について園田さおり様に説明いただき、ケアプランセンター nao所長 濱中直子様、広島市仁保・楠那地域包括支援センターセンター長 田村柴野様に「自宅退院を希望する独居高齢者への在宅支援」というテーマでご講演いただきました。患者様が望む暮らしが送れるよう連携していくことの重要性、講師の先生方の情熱を感じることができ、とても有意義な講習会だったと多数の感想が寄せられ、学びの多い研修会となりました。

教育担当：仁熊 詩織



## ▶ 看護研究サポートを受けて

今回初めて看護研究サポートを受講し、看護研究の基本や進め方について学ぶ事が出来ました。現在、インタビュー調査による看護研究に取り組んでいますが、先生に助言をいただきながら最後まで頑張りたいと思います。

済生会広島病院 由元 環恵



今回、研究サポートを受けながら、看護研究を進めてきました。看護研究を進めるにあたり、広島国際大学 廣川先生にご教示いただき、基本的な研究の進め方、文献検索の方法や視点、自分たちが明確にしたい事柄についてより広い視野を持てるように助言をいただきました。初めての研究であり不安を抱えながら研究を進めていましたが助言をいただくことで研究の方向性が明確になり、系統立てて研究を進めることで安心感につながり、スムーズに進めることができました。今回の経験を今後活かしていきたいと思います。

広島市医師会運営・安芸市民病院 須山 真見

## 編集後記

研修会では、講師の先生、インストラクターさんの気迫に満ちたご指導や、看護現場での様々な課題、対処法を学ぶことができ、全てにおいて明日への活力となるような内容でした。今後も地域、社会の中で看護職としての役割を最大限に果たすことができるよう情報を発信していきたいです。／津田

[発行日] 2025年2月発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 広島東支部  
〒732-0052 広島市東区光町1丁目6-8 第二吉岡ビル 603号室  
TEL/FAX:082-262-3524  
E-mail: s-higashi@nurse-hiroshima.or.jp

[発行責任者] 松田 早苗